

鎮魂と復興へ 灯笼15,000

7月31日 夕
石巻住吉公園にて



運営は石巻川開き実行委員会で行った



鎮魂の灯笼は厳かに静かに流れ行く

東日本大震災から4ヶ月半となる31日石巻川開きの前夜に灯笼流しがしめやかに執り行われた。また、1日には4500発の花火に大きな歓声と連帯の拍手。大曲・長岡から復興願う特別にアレンジした花火とメッセージには本当に感謝です。

救援センター初 新山浜へ



ひざを交えて挨拶する、救援センター本部長三浦一敏市議

7月30日、牡鹿地区の最東端の新山浜へ物資が届けられた。亀裂のある道路を通って2時間走りやつと到着。津波による人的被害は無かったもののさし網漁の船を多数失い港が大きく沈下しました。物資を見た新山浜地域の被災者は、物資をいろいろ届けてもらっているが政党からもらえるとは思っていなかったとびつくりしている。浜は、ガレキの撤去もまだすんでおらず、救援センター本部長の三浦一敏市議は、取り残された浜々へしっかりと届けに行きたいと語る。

東京・目黒区 星見区議女川へ 第二弾



玄関で出迎え



物資お届け



高野博女川町議と星見目黒区議